

新潟市教育委員会 令和5年7月 定例会会議録

日 時	令和5年7月 25 日(火) 午後3時 30 分			
場 所	新潟市役所 ふるまち庁舎 4階 教育会議室1			
教育長	井 崎 規 之			
出席委員 (8名)	大 宮 一 真	出席委員	畠 山 典 子	
	五十嵐 悠 介		石 坂 学	
	齋 藤 昭 彦		神 林 む つ み	
	乙 川 千 香	欠席委員		
	中津川 英 子			
会議出席 教育委員会 事務局職員 (15名)	職・氏 名		職・氏 名	
	教 育 次 長	池 田 浩	特 別 支 援 教 育 課 長	桑 原 通 泰
	教 育 次 長	本 間 金 一 郎	中 央 公 民 館 長	渡 部 和 人
	教 育 総 務 課 長	渡 辺 和 則	生 涯 学 習 セ ン タ ー 長	辻 村 理 恵
	学 校 人 事 課 長	丸 山 明 生	中 央 図 書 館 長	新 井 直 美
	教 育 職 員 課 長	中 津 昌 樹	教 育 総 務 課 補 佐	相 崎 敦 子
	学 務 課 補 佐	飯 田 康 弘		
	保 健 給 食 課 長	袖 山 直 也		
	施 設 課 長	石 川 淑 朗		
	地 域 教 育 推 進 課 補 佐	高 橋 宏 昌		
学 校 支 援 課 長	三 條 貴 之			
他部署 出席者(0名)				

開会	時 刻	午後3時30分
	宣 言 者	教育長
付議事件 (2件)	議案第9号	令和6年度使用新潟市立小学校用教科用図書の採択について
	議案第10号	令和6年度使用新潟市立特別支援学校・特別支援学級用一般図書の採択について
報告 (1件)	幼児教育シンポジウムの開催について	
協議会 (1件)	教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価(案)について	

## 第1 開会宣言

○教育長

午後3時30分 開会を宣言する。

これより、7月教育委員会定例会を開催いたします。

本日、報道関係者より委員会を撮影及び録音したい旨の申し出がありますが、これを許可することにご異議ありませんでしょうか。

(異議なし)

それでは、許可することで決定いたします。

## 会議録署名委員の指名

○教育長

日程第1「会議録署名委員の指名」を行います。新潟市教育委員会会議規則第11条の規定により、会議録署名委員に乙川委員及び中津川委員を指名します。

## 第2 付議事件

○教育長

令和6年度使用新潟市小学校用教科用図書採択について審議いたします。議案第9号につきましては、初めに教科用図書審議委員会からの答申などについての説明を受けた後、教科ごとに審議し、最後に議案全体についてお諮りしたいと思います。いかがでしょうか。

(異議なし)

それでは、学校支援課からご説明をお願いいたします。

○学校支援課長

学校支援課です。議案第9号「令和6年度使用新潟市立小学校用教科用図書の採択について」説明いたします。別冊1ページをご覧ください。

答申の中にありますように、令和6年度使用小学校用教科用図書については、5月の教育委員会の諮問を受けて、調査員の調査研究をもとにした教科用図書審議委員会で審議し答申されました。

「記」のア①②③の観点に基づき、慎重に審議した結果、別冊3ページから別冊70ページまでに教科ごとに記載してある教科用図書が答申されました。

次に小学校で使用する教科用図書について補足説明いたします。

教科用図書の採択については、学校教育法附則第9条の規定により、小学校用教科書目録(令和6年度使用)に登録されているここに記載の教科用図書のうちから採択することとなっています。

次に答申までの経緯についてお話しします。この度、諮問の観点により審議委員会が答申しましたが、その際、専門調査員の調査研究報告書を中心に審議していただきました。

また、県の教科用図書研究資料を参酌し、併せて新潟市立総合教育センターとほんぽーとに設置された新潟教科書センターの閲覧者から寄せられた意見等も参考にしています。

次に、今回の教科書採択に関わる専門調査員の研究経過について、簡単にご説明いたします。別冊3ページをご覧ください。

令和5年6月9日に第1回調査員打ち合わせ会を開催し、そ

の場で教科用図書採択の基本方針、諮問内容等を確認いたしました。その後、小学校教科部会ごとに複数回、調査研究の会を開催し、報告書としてまとめました。

小学校部会の研究の観点は 2 の(1)(2) に示した通りです。

以上が答申までの経緯、専門調査員の研究結果の報告でございます。

○教育長

はい、ありがとうございました。

ただいま説明がありましたように、今回採択の小学校で使用する教科用図書につきましては、全ての教科用図書が小学校用の教科書目録(令和 6 年使用)に登録されている教科書であるということです。

この点を踏まえ、現在の新潟市の教育課題と子どもたちの実態をもとに、より適した教科書を採択することになります。審議委員会では専門的な見地から慎重に協議・検討した結果として答申をいただきたいところでございます。

ここまでで委員の皆様からご質問があればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(質問無し)

それでは、教科ごとに学校支援課の方からご説明をお願いいたします。

○学校支援課長

教育委員の皆様には 7 月 18 日に開催された教科書閲覧会において、審議委員会からの答申、答申された専門調査員研究報告書、全教科の教科書について目を通し、内容を把握していただいております。

本日は時間も限られておりますので、第 2 回審議委員会で新潟市の子どもたちに適しているものとして推薦された教科書発行者名のみ、発行者の番号順、発行者名については略称を用いてお伝えいたします。

それでは、別冊 4 ページ 国語をお開きください。新潟市の児童に適するものとして、2 東書、38 光村の 2 種が推薦されました。ご審議をお願いいたします。

○教育長

ただいまの説明にご質問、または児童に適していると考え教科書について、委員の皆様からご意見がありましたらご発言をいただければと思います。

○島山委員

東書は単元の最初に「見通す」それから、「取り組む」「振り返る」の学習の流れがおおよそのものが示してあります。(他の教科書は)単元の最後に詳しく示してあるのですが、単元の最初にあることによって、見通しを持って主体的に安心して取り組めると思いました。

○教育長

はい、ありがとうございます。ほかにございますでしょうか。

○神林委員

光村は目次が分かりやすいんじゃないかなと思いました。それと、絵本を多く出版している会社ですから、教科書内の教材もなじみやすいものが多いように感じました。

- 教育長                    ありがとうございます。ほかにございますでしょうか。
- 五十嵐委員                東京書籍ですけれども情報の扉という、情報の取り扱いに関する単元が年 3 回程度の各学年で設定されていました。これは情報の扱いが理解できるようになったほかに、児童の発達段階に応じて国語力を学べるということの方に、人間関係や社交性等についても考えてもらう仕組みであるというふうに感じました。
- 例えば、3 年生ではなぜこれがしたいのかということを相手に伝えようですが、5 年生では自分の意見を、しっかり意見と事実を分けて考えようというようなことが学べる内容になっているというふうに感じました。
- 教育長                    はい、ありがとうございます。他にございますでしょうか。
- 中津川委員                東書ですが、単元の終わりに見開きの手引きというのがありまして、その単元で取り組む課題や展開が具体的に示されているので、取り組みやすいのではないかと思います。
- 教育長                    はい、ありがとうございます。他にございますでしょうか。
- 東書を推薦する声が多くありますが、光村についてもお一人の方はご推薦ということでございます。他にご意見がなければ、お声が多かった東書を採択するというごこと、ご異議はございませんでしょうか。
- (異議なし)
- それでは、国語については東書を採択いたします。
- それでは続いて書写をお願いいたします
- 学校支援課長              書写についてです。新潟市の児童に適するものとして、2 東書、38 光村の 2 種が推薦されました。ご審議をお願いいたします。
- 教育長                    はい、それではご質問、ご意見等ございましたら委員の皆様からご発言をお願いいたします。
- 島山委員                    光村なんですけども、見開きのページの中で学んでほしいことがすぐ目に入ってくるような構成になっていると思いました。しかもすっきりとして分かりやすいと思います。
- 教育長                    ありがとうございます。他にございますでしょうか。
- 大宮委員                    私は東書を推薦したいと思います。東書はクイズなどがあり、子供が興味を持って進められる内容だということで、子供たちが大変興味がわく内容になっていると思いますので、よろしいかと思います。
- 教育長                    ありがとうございます。他にございますでしょうか。
- 乙川委員                    私は光村ですが、1、2 年生では文字を書くときの基礎基本が繰り返しわかりやすく示されています。続く 3 年生の習字学習においては、準備の仕方や片付けまでは自分で進められるようにスモールステップで示されています。また、ねらいや大切なところが明確で「考えよう」「確かめよう」「生かそう」といった学習の進め方や指導の過程がとても丁寧に示されていると感じました。
- 教育長                    ありがとうございます。他にございますでしょうか。
- 神林委員                    私も光村なのですが、全体的に何かゆったり感があるように感じまし

た。それと、教科書全体が学びやすいのではないかと感じたんですけれど。

○教育長

ありがとうございました。他にございますでしょうか。

それではほかにご意見が無いようですので、光村を推す声が多くございましたが、光村を採択するということによろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは書写につきましては光村を採択することといたします。

それでは続いて社会の説明をお願いいたします。

○学校支援課長

社会につきましては、2 東書、17 教出、116 日文の 3 種が推薦されました。ご審議をお願いいたします。

○教育長

それでは、ご質問、ご意見ございましたらご発言願います。

○石坂委員

どの教科書もよくできている風に感じました。中でも教出のレイアウトが資料を比較できるような構成になっているように感じます。また、県内含めて資料がいろいろな観点から載せられていますので、課題追究ができるそういう教科書であるというふうに感じています。それから単元の後ろにあるのですが、その単元の後ろのまとめのところなのですが、単に学習内容の整理ではなくて、学習を通して学んだことを基にして、自分の解釈であるとか考えを表出できるような、そういう問いになっているところが指摘できているかなというふうに思っています。以上です。

○教育長

ありがとうございます。他にご発言願いたいかと思いますが。

○齋藤委員

私は日文の教科書につきまして、述べさせていただきます。子どもたちが社会の事象に対して考えを進め、それをどう発展させていくか、思考の過程が、非常に明確に示されている教科書だと思いました。具体的には、最初にその学習問題を発見して、そして追究して解決して問題を掘り下げる、そして未来に生かす、とステップが明確に書かれていて、その構成が統一されているということ。あとは最後に、深め合い活動あり、これが会話形式でいろいろな考え方を、思考につなぐことができ、すごく流れがいいと感じました。以上です。

○教育長

はい、ありがとうございます。他にご発言いただければと思います。

○畠山委員

東京書籍は、毎時間の学習で学びのポイントとして見方考え方が分かりやすく示されていました。これは学習の深まりにつながるな思いました。

○教育長

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○神林委員

私は教育出版ですが、三条の水害や南魚沼の米作りなど、県内の事例が多く取り上げられていて、良いように感じます。

○教育長

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○中津川委員

教育出版ですけども、社会科というのは 3 年生になって初めて学ぶ科目で、冒頭のところ 1、2 年生で学んできた生活科を振り返る。そういうところから入ってくるので、3 年生にとっては子供たちにとっては丁寧な導入なのではないかと思いました。

- 教育長                    ありがとうございます。他にございますでしょうか。  
教出について、推薦の意見が多くありましたが、委員の皆様いかがでしょうか。教出ということでよろしいでしょうか。  
(異議なし)  
それでは、社会につきましては教出を採択することにいたします。それでは、続いて地図をお願いいたします。
- 学校支援課長            地図について、新潟市の児童に適するものとして、2 東書、46 帝国の2種が推薦されました。ご審議をお願いいたします。
- 教育長                    それでは、皆様からご意見等ご発言いただければと思います。
- 石坂委員                  帝国書籍は見やすさというのをすごく大事にされてるなというふうに思いました。例えば、標高の色分けなんかわかりやすい形ですし、フォント、文字、こういうものの大きさを工夫されて、いろんな情報を細かく載せています。このため、各学年の発達段階に応じた地図の読み取り方とか活用ができるのではないかとこのように考えています。  
はい、ありがとうございます。他にご発言ありますでしょうか。
- 神林委員                  製本の観点から、3年生から6年生まで使うもので、両社ともに4年間使うようなことを考えて製本されているなど感じました。
- 教育長                    ありがとうございます。ほかにごございますでしょうか。
- 中津川委員              帝国ですけれども、本当に昔からと言いますか、私の子供の方から使われていたものだと思うのですが、その見慣れた地図のところに、その土地を思い起こさせるような可愛いイラストがついているんですね。例えば新潟はチューリップとか、それから長岡花火のようなそういったものがついていて、分かりやすいなと思いました。また、様々なデジタルコンテンツがあるのですが、都道府県ごとの地図もあり、それぞれの地域の特色を理解するのに良いのではないかなと思いました。
- 教育長                    ありがとうございます。他にご発言はございますでしょうか。  
帝国を推す意見が多くありましたが、地図については帝国を採択することということでよろしいでしょうか  
(異議なし)  
それでは地図につきましては帝国を採択いたします。  
続いて算数についてお願いします
- 学校支援課長            算数について、新潟市の児童に適するものとして、2 東書、11 学図、17 教出の3種が推薦されました。ご審議をお願いいたします。
- 教育長                    それでは算数につきましても、ご意見がありましたらご発言願ければと思います。
- 乙川委員                  私は、学図の教科書を推薦します。単元ごとに分かりやすい目標やタイトルが付けられているほか、学習が継続的に進められる構成となっています。子どもたちが算数に楽しみながら取り組んでいけるよう工夫されていると感じました。
- 教育長                    ありがとうございます。ほかにごございますでしょうか。

○石坂委員

どの教科書も課題解決に向けて明確な筋道を大事にするという流れを感じるんですけども、中でも、東書と学図が優れているなど思っていますが、東書は同じように考えると、それなら、など、途上発問のそういうものを設定して既習を活用したり、また新たな課題を見出して解決するなど学びの連続性というのを大事にされていると思います。学図さんの方はこの東書の流れに加えて、ワイド版って言うんでしょうか、ちょっと大きな版を使いまして、この紙面の構成を工夫されていると思います。特に、課題とまとめを同一見開きの中で完結するような形でレイアウトがなされているページが多いです。このことは学校の授業で考えた時に、経験の浅い教員が活用しやすいメリットがあるかなというふうに感じています。両方優れているかなと思います。

○教育長

ありがとうございます。他にご発言はございますでしょうか。

○齋藤委員

三つの教科書は全て素晴らしいと思いますが、教出の教科書は分かりやすく、また、流れが良いと感じました。「これは・はてな・なるほど」という流れが統一されていて、学びのプロセスが明確になっていると思います。あとは必ず単元の最後に 4 コマ漫画があり、子供たちには取り込みやすいのかなど。QR コードなどを用い、いろいろなデジタル化への流れも取りこんでいて、非常によいと感じました。

○教育長

ありがとうございます。他にご発言はございますでしょうか。

○五十嵐委員

乙川委員や石坂委員と同じく、学校図書を推薦したいと思います。前学年の振り返りからの新学年などの新しい課程につながっているということで、連続性が非常に感じられるということ。6 年生から先に中学校への架け橋という部分の工夫がなされているので算数への探究というものが単純にその授業の中だけではなくて、ずっとこの後も続いていくんだなっていうのが、子どもたちに非常に分かりやすいのかなというふうに思いました。また、プログラミングですとか、SDGs ですとか、歴史ですとか、多種多様な探求心をいろんなところで刺激するような作りになっていますので、子どもたちもワクワクしながら学ぶことができるのではないかなというふうに感じました。

○教育長

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

それでは委員の皆様からは学図を押す声が多くございましたが、学図を採択することよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは算数につきましては学図を採択いたします。

続いて理科をお願いいたします。

○学校支援課長

理科について新潟市の児童に適するものとして、2 東書、11 学図、17 教出の 3 種が推薦されました。ご審議をお願いいたします。

○教育長

それでは理科についてのご意見がありましたらお願いします。

○五十嵐委員

どの教科書も非常に分かりやすい作りになっていると思っています。その中で学校図書の教科書なんですけども、社会問題ですとか、持続



可能性など、子どもたち自身が実際に大人になった時に、いずれ向き合うような課題についても考えさせる仕組みになっていたと。これは子どもたちにとっても自らの主体的な学びにつながっていく構成ではないかというふうに感じましたので、学校図書を推薦したいと思います。

○教育長

ありがとうございます。他にもございますでしょうか。

○大宮委員

どの会社の教科書も課題が全て疑問文となっており、子供の問題意識の分布がされておりました。ただ、その中でも私としては学図を推したいと思います。問題を見つけようで、気づきや疑問点を明確にした上で、子どもが自ら問題を設定するという工夫がなされており、その点が優れているなというふうに思っております。

○教育長

ありがとうございます。他にもございますでしょうか。

○齋藤委員

全て見させていただいた中でも、教科書の印象といいますか、パッと見た時の目に飛び込むやさしさ、ユニバーサルデザイン、そのあたりの視点で入りやすいというところで、教出の教科書は其中でも特に秀でていると思いました。

○教育長

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○神林委員

私は東書なんですけど、開いた時になんか写真のレイアウトレイアウトが見やすく整理されていていいなと感じました。

○教育長

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○中津川委員

学図は理科モンスターというキャラクターが多く出てくるんですね。単元で身に着ける資質や能力を示すもので、子どもたちの興味や関心を引き寄せる、意識付けが図られるのではないかと思います。また、最初に五十嵐委員も言われたのですが、SDGs ですね。持続可能な社会を目指すための、そういった主な目標のまとめというのが裏表紙などにもありまして、この教科書から繋がっていくところはこれですよというような。例えば 3 年の自然の観察だと、14 の海の豊かさを守ろうとか、15 の陸の豊かさを守ろう、こういった目的につながるんですよと、最後にまとめてあるのでとても良いのではないかなと思いました。

○教育長

ありがとうございます。その他ご意見がございましたでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは、学図についてのご意見が多数ありましたが、理科につきましては学図を採択するというところでよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは理科につきましては学図を採択いたします。

続いて生活をお願いいたします。

○学校支援課長

生活について、新潟市の児童に適するものとして、2 東書、11 学図、38 光村の 3 種が推薦されました。ご審議をお願いいたします。

○教育長

それでは、ご意見等ありましたらご発言をお願いいたします。

○畠山委員

いずれも 1 年生の教科書なんですけれども、1 年生という新しい生活に入っていくワクワク感が伝わってくるなというふうに思いました。その中

	でも東書は、一単位時間の学びが見開きページに示されていて、その中で完結に分かりやすく示されているというふうになりました。
○教育長	ありがとうございます。他にご意見ございますでしょうか。
○神林委員	学図は見開きで構成されているのが多く、分かりやすいんじゃないかなと思いました。
	はい、ありがとうございます。他にございますでしょうか。
○大宮委員	私は光村を推したいと思います。季節の流れに沿って内容がまとめられており、子どもが活動したり、また表現したりする際の、学びのヒントというものが示されていて、とても分かりやすく取り組みやすい教科書であるというふうに思いました。
○教育長	はい、ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。
○石坂委員	私も光村がいいかなというふうに感じています。流れについては、今、大宮委員さんがお話しされたことが素晴らしいと思いますし、加えて、各単元の終わりにどんな発見があったかなとか、美味しい野菜ができたかななど、その単元の学習を振り返ることができるページが設けられています。いろいろな教科書にこれはあるんですけども、そのページにはこの教科書共通して、これまでに学習したことを思い出そう、今のあなたの気持ちを書こう、新しい楽しい毎日につなげよう、この3つの項目・観点で振り返るような構成になっています。このことは、自分のこれまでの教材との関わり方を振り返るとともに、自分自身の成長とか、自分自身の変化とかを自覚することにつながり、そして次の生活に生かそうとする、そういう資質・能力・態度を育てていくことにつながっていくんじゃないかなと思います。このような工夫があって良いというふうに考えています。
○教育長	はい、ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。
	生活については、光村、学図、東書の3社を推す声がございましたが若干光村を推す声が多いようです。光村ということでよろしいでしょうか。
	(異議なし)
	それでは、生活につきましては、光村を採択することといたします。
	続いて音楽についてお願いします。
○学校支援課長	音楽について、新潟市の児童に適するものとして、17教出、27教芸の2種が推薦されました。ご審議をお願いします。
○教育長	それでは、ご意見等ありましたらご発言をお願いいたします。
○畠山委員	教育出版なのですが、特に1年生で踊りやリズムの遊びが分かりやすく示されて、子どもたちがスッと表現等に入っていけるなと思いました。
○教育長	ありがとうございます。他にご発言ありますでしょうか。
○五十嵐委員	教育芸術社さんの教科書で特筆すべきだなっていうのは、世界中の音楽の紹介ですとか、音楽が社会に与える力国際的な音楽に関するマナー、この辺りが学べる内容になってくるということで、これから国際化の時代になっていますので、子どもたちに音楽だけではなくて、そういうそ

の社会にかかる力ですとか、国際的なものについても学べる教科書がいいんじゃないかというふうに感じました。

○教育長

ありがとうございます。他にご発言ありますでしょうか。

○神林委員

私も教育芸術社の方なんですけれども、高学年の方にちょっと集中して拝見させてもらったんですが、特に高学年だと自主的に学ぼうというように感じられたんですね。そんな構成がされていていいかなと思いました。

○教育課長

ありがとうございます。他にご発言ありますでしょうか。

○石坂委員

教育芸術社です。この教科書はデジタル教材の資料が充実しているという風を感じました。例えば、QR コードで学習をサポートするコンテンツが両方の教科書にもあるのですけれども、ここでは児童が試行錯誤しながら、例えば自分の曲を作るとかのようなこと。工夫されていて、神林委員が教科書で感じられたことに加えて、デジタルでも個別にそれから主体的に学べる配慮が多くなされているというふうに感じました。

○教育長

はい、ありがとうございます。他にございますでしょうか？

それでは、教芸について推薦される声が多くなったように思いますので、音楽につきましては、教芸を採択するということによろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、音楽につきましては教芸を採択いたします。

続いて図工についてお願いいたします。

○学校支援課長

図工についてです。新潟市の児童に適するものとして、9 開隆堂、116 日文の 2 種が推薦されました。ご審議をお願いします。

○教育長

それでは、ご意見等ありましたらご発言をお願いいたします。

○五十嵐委員

日文の教科書ですけれども、自分が小学校の時に色とりどりの写真ですとか、頑張れば自分でも作れるかもとか、作ってみたいなど思えるような工作の写真に、読んでると心を奪われたなつてのを思い出しました。自分でも作ってみたいなって思えるようなものづくりへのモチベーションを考えたときに、こうやって、そのカラフルな写真の数々で子どもたちの好奇心を刺激するんであろうというような、この教科書を推薦したいというふうに思います。

○教育長

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○中津川委員

写真は確かに日文さんの方もいいのですけれども、開隆堂出版の方も制作活動に取り組むこどもたちの様子が、比較的ダイナミックに伝わってくるような気がしましたし、またそれぞれの作品の写真が豊富で学習をイメージしやすいと思いました。また、日文の方は、学習のめあてですね。大切にすることを活動の前に確かめるべきことというのが明確で、指導と評価の一体化につながりやすいのではないかと思います

○教育長

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○乙川委員

私も日文の方がどちらかというといいなと思いました。開隆堂の方は、

中津川委員もおっしゃったように、制作活動とか取り組む子どもたちの姿とか、それぞれの作品なんかも大きな写真でたくさん紹介されているところが、生き生きとした姿が伝わってきて、また、楽しそうな雰囲気がとても感じられたんですが、日文の方が学習のめあてを示すマークが3つの観点から示されておりましたので、指導と評価の一体化に沿った学びを促しているなと思いました。さらに、子どもたちが思いを工夫して表現することの大切さを、子供たちの目線で書かれているところがいいと思います。材料と用具の引き出しというコーナー出方があるのですが、用具の使い方や特徴が分かりやすく書かれており、学習を進める上で安全に楽しく制作活動ができるように工夫されているなと思いました。ですので、私は日文を推薦したいと思います。

○教育長

ありがとうございました。他にご意見ございますでしょうか。

○齋藤委員

私も日文なのですが、両者を比較して、特に美術史の精細な記載や、SDGs、リサイクルなど、非常に重要な内容が含まれています。また、図工の際の安全性の配慮などの記載があって、そのビジョンに特徴があり、良いのではないかと感じました。

○教育長

ありがとうございます。他にご意見はございませんでしょうか。

他にご意見が無いようですので、図工につきましては、日文を採択することでよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは図工につきましては、日文を採択いたします。

続いて、家庭について説明をお願いいたします。

○学校支援課長

家庭について新潟市の児童に適するものとして、2 東書、9 開隆堂の2種が推薦されました。ご審議をお願いします。

○教育長

それでは委員の方からご意見をお聞かせください。

○中津川委員

両方の教科書とともに、開いた右上のところに QR コードがほぼ全ページにわたってついているというので、ちょっとびっくりいたしました。例えば、ミシンの糸の付け方は、私の子供の頃に苦労した思いがあります。そういったものも動画を使い、一目瞭然で分かりやすいなと思いました。東書の方が 200、開隆堂のほうに 300 の QR コンテンツがあるということで、もちろんミシンの糸の付け方だけではなくて、食べ物を切ったりする時に右利きの子と左利きの子、その双方に対応している説明もあり、本当にきめ細やかだなと思って 2 つの教科書ともに大変感心をいたしました。

○教育長

ありがとうございました。他にございますでしょうか。

○乙川委員

進め方という点で、2 社とも学習の流れがステップごとに構成されていて、学習に取り組みやすい印象を受けました。その中でも特に開隆堂出版では気づく・見つける、わかる・できる、生かす・深めるという具合に新たな生活の中の課題に取り組んだり、探究につながったりする良さが感じられると思いました。

○教育長	ありがとうございました。他にございますでしょうか。
○五十嵐委員	私も開隆堂が良いと思いました。小学校 5、6 年生ぐらいですね。家庭科の年代になってくると、自分が一人暮らしをしたらというようなことをちょっと考えてくるような年頃だと思うんですけども、実際、7～8年後くらいするとですね、一人暮らしをする方が出てくるということになると思います。その時に、こういう教科書の 5 年、6 年と学ぶことで、自分もそういう風な未来がやってくるんだなっていうようなことを想起させるような、ドキドキワクワクするような内容でできているんじゃないかなというふうに感じました。
○教育長	ありがとうございます。他にございますでしょうか。 委員の皆様からは開隆堂を採択することよろしいでしょうか。 (異議なし) それでは家庭については開隆堂を採択いたします。 続いて保健についてお願いいたします。
○学校支援課長	保健について新潟市の児童に適するものとして 2 東書、4 大日本、50 大修館の 3 種が推薦されました。ご審議をお願いします。
○教育長	それでは、委員の皆様からご意見がございましたらお願いいたします。
○齋藤委員	どの教科書も最近のコロナなども含めて、アップデートされていて、興味がわき、思考のプロセスを具体的に示している非常に素晴らしい教科書だと思いました。その中でも大日本の教科書ですが、マイノリティ、HIV、SDGs、自然災害など、現在の世の中で特に健康と関連する最新の報が含まれています。
○教育長	ありがとうございます。他にございますでしょうか。
○五十嵐委員	私も大日本図書については、そこは分かりやすくまとめられてるなというふうに感じました。一方で東京書籍の方では、それらも内容も同じように踏まえつつも、教科書自体が、児童が困った時に、不安な時に、自分がトラブルに巻き込まれた時に、それ自体ガイダンスとして、教科書自体が自分の人生のガイダンスとして機能できるような作りになっているんじゃないかなというふうに思いました。
○教育長	ありがとうございます。他にございますでしょうか。
○大宮委員	私は東京書籍で QR コードが示されており、大変効果的な印象を持ちました。また、実習やスキルという活動を設定し、技能習得への配慮があるところが素晴らしいなと思いましたので、推薦したいと思います。
○教育長	ありがとうございます。他にございますでしょうか。
○畠山委員	3 社とも課題解決的な学習が進められるように段階が示されているなと思いました。その中でも東書は記述欄が多く、自分の意見をしっかり考えさせたりとか、それから友達との話し合いを深めさせたりする、いわゆる学校での学びの良さが生かされているなと思いました。
○教育長	ありがとうございます。他にございますでしょうか。

保健については東書を推す声の方が多くありましたが、採択につきましては東書を採択するというところでよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、保健につきましては東書を採択いたします。

続いて外国語について説明をお願いいたします。

○学校支援課長 外国語について、新潟市の児童に適するものとして、2 東書、15 三省堂、38 光村の 3 種が推薦されました。ご審議をお願いします。

○教育長 それでは委員の方からご意見をお聞かせください。

○畠山委員 光村は他教科との関連を意識した作りとしているなと思いました。教科横断的な学習が取り組みやすいなと感じました。

○教育長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○中津川委員 3 社ともに表紙のイラストがとってもカラフルで、これが教科書の表紙なんだって、ちょっとびっくりしたぐらいですけども、子どもたちが英語を自在に操りながら、世界の冒険に出かけていくようなそんなイメージや願いが込められているのかなと思いました。英語の教科となるとデジタル学習と親和性が高いので、今回も各社ともに QR コンテンツ、音声ですとか、実際の映像ですとか、それからアニメーションですね。そういったものも大変豊富にあるので、今後期待ができると思いました。子供たち、本当に学年が上がると苦手意識を持つ子が増えてきますが、何とか小学校の場で楽しく学んでいってほしいなと思いました。

○教育長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○大宮委員 東書も三省堂も複数の単元を関連付けて、大きい単元を構成しているということで同じなんですけど、東書はさらにそれからの自分、地域、世界というストーリー性のある構成を担っておりまして、学びを自覚しやすいような構成になってくることで優れているなと思いました。

○教育長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○石坂委員 私も今の大宮委員の意見に賛成です。東書は加えてモデルが実写版になっています。このことで特にモデルとなる人物の表情とか口の動き、こういうものがよく見えますので、こういうところからも情報が得られて、より自然なコミュニケーションにつなげることができるというふうに考えています。

加えて東書は特に 6 年生の教科書なんですけども、四線とペン字体を用いた表記が、ポイントとなる場面で意図的に用いられているというふうに感じました。このことは、子どもたちが英文を書くという時のイメージ化に非常につながっていると思います。特に中学校に行きますと、書くことでつまずく子どもたちが多く出てしまいます。やはり 6 年生のうちからこういう書くことに関わる配慮をしていく、意識をしていく、こういうことは大変大きなことではないかなというふうに考えました。

○教育長 以上、ありがとうございます。他にご発言がございましたでしょうか。

それでは、外国語につきましては、東書を推す声が大きかったのです

が、委員の皆様いかがでございましょうか。東書ということでもよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、外国につきましては東書を採択することにいたします。

それでは続いて道徳についてお願いいたします。

○学校支援課長 道徳について新潟市の児童に適するものとして 2 東書、38 光村、224 学研の 3 種が推薦されました。ご審議をお願いします。

○教育長 それでは委員の方からご意見をお聞かせください。

○乙川委員 私は光村図書を推薦したいと思います。授業の中で段階的に考えを深めていけるような声が設定されていて、分かりやすく、とても効果的だなと感じました。また、家の人と一緒に考えてほしいことも示されておりますので、つなげていくという工夫が感じられます。それと現在、子どもたちの身の回りにある実際の課題となるような内容が多くて、今の時代に合っていると感じました。

○教育長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○大宮委員 私も光村を推したいと思います。最近の問題点としているいじめとの関連した教材が複数あって、話し合いの教材としても大変優れているという印象がありましたので、身近な問題を提起していると感じております。

○教育長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○齋藤委員 光村の内容は素晴らしいと思います。一方で、東書は、安心安全、情報モラル、いじめ、命、自分などが含まれていて、いろいろな現代の課題についての対応をどうするか、それぞれが並列して記載されており、非常に良いと思いました。また、学研の内容も素晴らしく、またパッと見た瞬間のイメージと言いますか、低学年で漢字のふりがななど、ユニバーサルデザインが使われた大変読みやすい教科書と感じました。

○教育長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○石坂委員 私は光村が授業展開をしやすい教科書だなというふうに感じました。まず教材のはじめに子どもたちが視点を持てるような問いがあって、考える方向づけを行うことができます。さらに大宮委員や乙川委員がお話しされたように、教材の内容が学校生活との関わりであるとか、日常生活との関わりのある、そういう出来事を多く取り上げています。このことは自分の経験をもとにして、考えを深めていくことができるというふうに思いますし、考え、議論する道徳というふうに言われていますけれども、そういう授業展開が行いやすい教科書だなというふうに感じました。

○教育長 以上ありがとうございます。他にございますでしょうか。

それでは、光村について肯定的なご意見がありましたが、道徳については光村を採択するとよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、道徳については、光村を採択いたします。

ここで、各教科で採択する教科書の確認をさせていただきます。国語から教科別に参ります。

国語は2 東書、書写は38 光村、社会は17 教出、地図は46 帝国、算数は11 学図、理科は11 学図、生活は38 光村、音楽は27 教芸、図工は116 日文、家庭は9 開隆堂、保健は2 東書、外国語は2 東書、道徳は38 光村というのがこれまでの結果になっております。それでは最初に戻っていただいて、議案第9号全体について承認をすることによってよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは議案第9号については承認ということにいたします。

続いて別冊71ページになりますが、議案第10号 令和6年度使用新潟市立特別支援学校、特別支援学級用の一般図書の採択について進行いたします。続いて、学校支援課から説明をお願いいたします。

○学校支援課長

議案第10号「令和6年度使用新潟市立特別支援学校、特別支援学級用教科用一般図書の採択」について説明いたします。特別支援学校、学級においては、その障がいにより教科書目録に掲載の教科書が適さない場合には、学校教育法第9条の規定により、教科書目録によらない図書を教科用図書として使用することができます。このことを通称、一般図書と呼称しています。

特別支援学校・学級用一般図書の採択について、文部科学省の通知では、十分調査研究を行い、児童生徒の障がいの種類・程度・能力に応じた適切な図書を採択することとしています。

別冊1ページの審議委員会の答申をご覧ください。まず、令和6年度使用特別支援学校、特別支援学級用教科用図書の一般図書については、5月の教育委員会の諮問を受けて、調査員の調査研究を基にした教科用図書審議委員会で審議しました。その際、1ページの記のイに基づき慎重に審議し答申されました。調査部会では72ページに示されている1の(1)の観点に示されている①から④をもとに、1の(2)の①から③の参考資料に掲載されている図書のうちの332冊について調査研究を行いました。

その結果、73ページ3の表にある通り325冊を選びました。そして様々な児童生徒の実態に対応できるよう、一冊一冊について段階をA B Cの3段階に分けて図書としての特徴、教科用を図書としての良さや活用方法などを参考情報として記述しました。

このことについては、74ページより一覧でお示ししてあります。なお、一般図書の調査研究にあたっては、本年度も小中学校、特別支援学級の保護者。特別支援学校の小中学部の保護者から調査員を引き受けていただきました。保護者としての考えや要望を、検討や協議の場でもっていただき、調査研究が大変深まったことを報告いたします。

以上でございます。ご審議よろしくお願ひいたします。



○教育長

新潟市立特別支援学校、特別支援学級用教科用一般図書について説明された図書が掲載されています。記号のアルファベットのABCの3段階につきましては、障がいの程度に応じられるということで、このようになっているとのことでございます。

委員の皆様には、事前に調査結果報告をもとに見本本を実際に手に取ってみていただいておりますので、合わせてご質問、ご意見がございましたらご発言をいただければと思います。

○大宮委員

特別支援学級の小学の国語で皆さんよくご存知のレオレオニのこの「スイミー」という本を見させていただきました。大変できた絵本でして、ストーリーと絵本が絵がですね、子供たちとても興味を引き出すような感じでストーリー性もありますし、またいろんな話にこう持っていけるというところで、自分がスイミーになって劇をするだろうとかですね、また、大勢の子どもたちでいろんなことが考えられるような構成になって、大変素晴らしいなというふうに思いました。このスイミーに皆さんもよくご存じだと思いますので、より子どもたちにもなじみやすいなというふうに思いました。

もう1点、生活という課程の中ですね。光の国の202シリーズ、食べ物2番にということで、こちらの50音順にですね。食べ物が写真でこのように出てまして、子どもにとっては分かりやすくなっていますし、また別なところクイズコーナーなんかもあったりとかして、またそれも子供たちの興味を体験する内容になって、こちらの本も私が見た中で大変素晴らしいなという風に感じました。

○教育長

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○畠山委員

公文出版の「はとのクルック」がとても良いなと思いました。時計の読み方ということが主な学習目的だと思うんですけども、それだけだと子供たちはなかなか入っていきづらいなというふうに思うんですが、物語風になっていて話が進められており、とてもはっきりとしたわかりやすい絵になっています。興味を持ちながら、子どもたちは学習を進めることができるなという点で思いました。最後に今までの物語の中の1日の様子を時計でまとめて示してあります。1日の生活、その時間の流れを感じられるような構成になっているなと思いました。この最初に針が差している数字を読むだけで正しい時刻がわかるようになっているんです。けども、短針が赤で、赤を指している字を読むと、例えば12と指していて、青のところを読むと青ではここは15という風な数字であるんですけども、それで時計の数字を読むと、なかなか時刻を表現するというのは難しいと思うんですけども、とても効果的な支援になってるなというふうに思いました。

○教育長

ありがとうございます。ほかにもございますでしょうか。

○齋藤委員

こちらの中学校生活の「はっけん のりものずかん」という学研から出ている図鑑を拝見しました。絵とか写真が並んでいますが、絵や写真の見開きから中を見れます。ただ見るだけではなくて、その中がどうなっているとか、仕掛けがあることによって本に集中できるというか、非常に夢

があつて、そして楽しんで読めると思います。非常に素晴らしい本が推薦されているなと思いました。

○教育長

ありがとうございます。ほかにございますでしょうか。

○乙川委員

私は絵本館から出ている「かずのえほん 1・2・3」という本がとても素晴らしいなと思いました。特別支援学校の中学部で使うという形なのですが、この著者の五味太郎さんの 絵本には幼少期からとても多く触れ合ってくるので、とても慣れ親しんでいると思います。身の回りの様子が生活の中で数を楽しみながら親しむことができるようになっています。

指で絵を追ったり、声に出して読み進めていけますし、発達段階に沿ったちょっと難しいところもあつたり、数の数え方とかもいろんなものの数え方があつたりするので、楽しい本だなというふうに思いました。

○教育長

はい、ありがとうございます。他にございますでしょうか。

それでは、記載をされている一般図書を令和 6 年度使用新潟市立特別支援学校、学級用一般図書として採択することによろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、児童生徒や、児童や生徒に接している現場の教員や保護者の方々の意見がきちんと反映されていることがいま確認できましたので、令和 6 年度使用新潟市立特別支援学校、学級一般用図書はここに記載をされている教科用図書を採択することにいたします。それでは、改めて議案第 10 号についてご承認をいただけるということによろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは以上で、令和 6 年度新潟市立特別支援学校、学級の一般図書の全ての採択を終了いたします。

ここで 10 分間の休憩に入ります。

### 第3 報告

○教育長

それでは、定例会を再開いたします。日程第3「報告」に入ります。幼児教育シンポジウムについて、教育総務課から説明をお願いいたします。

○教育総務課長

それでは、幼児教育シンポジウムの開催につきまして、ご説明させていただきます。報告資料の1ページをご覧ください。現在、国では、幼児期及び幼保小接続期の教育の質的向上に向けまして、幼保小の架け橋プログラムなど、さまざまな取組みを進めているところでございます。本市におきましても、子どもの成長、発達を社会の真ん中に据えた幼児教育のあり方に関するシンポジウム、こちらを今年度の新たな取組みといたしまして実施し、幼児教育の重要性を広く市民に発信していきたいと考えております。日程は、11月12日(日)を予定しておりまして、会場は中央図書館において、対面形式とオンライン形式で想定しております。

8番の当日の日程でございますが、はじめに講師の方から基調講演を

していただきまして、後半はパネルディスカッションを予定しております。裏面をご覧ください。基調講演ですが、現時点ではまだ仮でございますけれども、「幼児教育の重要性」につきまして、名古屋学芸大学の津金教授から講演を行っていただき、パネルディスカッションは幼稚園やこども園の現場の視点、あとは保護者の視点のほか、特別支援教育の視点からそれぞれ専門家の方、関係者にご参加いただきまして、ディスカッションを行っていただくという予定でございます。当日は、休憩時間に市立幼稚園での取組みを視聴していただくほか、パネリストとして市立幼稚園長からも参加していただくなど、本市の幼児教育の取組みもシンポジウムを通して発信させていただきたいと考えております。

また、今回のシンポジウムは教育委員会が主催となって開催いたしますけれども、シンポジウムの内容など、こちらは市長部局、特にこども未来部とも共有いたしまして、より多くの方に幼児教育の重要性につきまして知っていただけるよう、周知に努めてまいりたいと考えております。説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○教育長

ただいまの説明にご質問やご意見がありましたら、ご発言を頂ければと思います。

○畠山委員

今のご説明に、今年初めて幼児教育のシンポジウムを開催されるということで、とても望ましいことだと思って、聞かせていただきました。幼児の子どもたちの生活や思いや考え方というのは一生を左右するものだとも思っておりますので、その重要性を広く発信するということは、とても大切なことだと思っております。

一点だけ、本市の幼児教育ということで、各園長先生からパネリストとして出ていただくということですが、幼稚園もそうですが、保育園も幼児教育を大事にして、育てていこうという方向になっているかと思えます。今後、また来年度以降、新潟市の子どもたちは保育園に行っている子が圧倒的に多いと思っておりますので、保育園の園長先生からもパネリストとして発言いただきたいと思います。

○教育長

ほかにごございますでしょうか。よろしいでしょうか。

私から一点、パネルディスカッションのコーディネーターのところに長谷川豊図書館長がいますが、この意図を教えてくださいませんか。

○教育総務課長

今回、中央図書館ということもあるのですが、それよりも長谷川館長につきましては、かつて小学校の教諭、あとは幼稚園の園長先生を経験しております、接続の関係も現場としてよくご存じの方でございます。そういったこともございまして、長谷川豊栄図書館長に今回、コーディネーターをお願いしたいということで選定させていただきました。

○教育長

それでは、この件についてはよろしいでしょうか。

第4 次回日程

○教育長

続きまして、日程第4「次回日程」について、引き続き、教育総務課か

らお願いします。

- 教育総務課長 8月につきましては、8月23日(水)、時間は10時30分からを予定しております。よろしく願いいたします。

第5 公開終了

- 教育長 以上で、定例会は閉会となります。

第6 協議会

- 教育長 ~以下、非公開のため省略~

- 教育総務課長

○教育長

第7 協議会閉会

○教育長

それでは、よろしければ以上で協議会を閉会いたします。

これで本日の日程はすべて終了いたします。

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

署名委員

中津川 英子

乙川 千香